



# あきる野青年会議所

– Junior Chamber International Akiruno –

2022 年度 9 月号 広報誌



[ホームページはこちら](#)

発行：あきる野青年会議所  
編纂：地域ネットワーク拡大委員会



▽▽▽  青少年育成にすること

▼スポーツのチカラ推進委員会

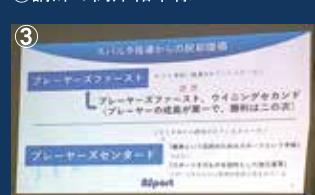
**299**

Players Centered

子どもに対する親としての向き合い方

回例会

子どもたちの自発的な成長のために



②講師の高岸祐幸様

③スバルタ指導からの脱却提唱

スポーツのチカラ推進委員会  
委員長：大園邦暁



①子を持つ親として熱心に聴講するメンバー

私たち大人、或いは親としての私たちは、子どもに対してどのように関わっているだろうか。親としてどう接しているだろうか。それぞれの考え方があるなか、子どもたちの自発的な成長のために私たちに出来ることは、そんな想いで今回の例会を開催致しました。当時は講師として、一般社団法人あきる野総合スポーツクラブ理事長・高岸祐幸様をお招きし、親が子どもにどの様に接することが子どもの自発的成長に繋がるかを学びました。スポーツを通した子どもの心的成長に繋がる声のかけ方、子どもの感覚的思考への理解。目から鱗とはこの事かと思える例会でした。



①多くの地域を愛する青年が集ったディスカッション  
②両団体リーダーの祝初共催記念くす玉割り

地域を豊かにしたい・この地に貢献したい・明るい社会をつくりたい。  
あきる野市には様々な青年団体があります。各団体の根本的な目標は同じなのですから、共に手を取り合えば活動の幅は必ず拡がるはずです。初の試みとして、あきる野市観光協会青年部との共催例会を行いました。当時はコロナウィルス拡大対策を徹底的に行う上で、地域を愛する青年が50名超集い、「明るい豊かな地域とは」を主題に、地域資源・人との関わり・子供の幸せを副題に、ワールドカフェディスカッションを行いました。

ヒントは「コミュニケーションから生まれます。両団体が手を取り合い、未来へ向かう例会となりました。



地域ネットワーク拡大委員会 委員長：来住野匠

あきる野市観光協会青年部  
あきる野青年会議所共催例会

▼地域・青年ディスカッション▼

初共催・共に手を取り合ふきっかけに

▼地域ネットワーク拡大委員会

回例会

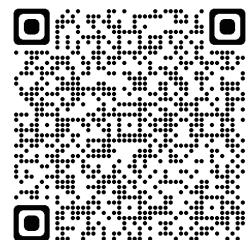
**300**



本年も、あきる野青年会議所主催の花火大会を開催致します。  
詳しい情報はあきる野青年会議所ホームページより後日公開致します。

## アンケートへのご協力をお願いします

広報誌をお読みいただき、誠にありがとうございます。  
地域の方々からいただきました声をもとに、  
今後の活動をより豊かなものへとしていきたく、  
右より簡単なアンケートへのご協力をお願い致します。



### 《まち》

～人と自然が共生できる豊かなまち～

秋川流域にはたくさんの埋もれた地域資源があり、その地域資源はまちを活性化させていくにあたり必要不可欠なものです。資源の特徴・個性を活かし、この地域の宝をより多くの方に発信することで、地域を活性化させ、魅力あるまちになるような運動を行います。



### 《経済》

～市民がよろこび集うまち～

独自の個性・魅力を備えた自立性の高い産業づくりが求められる時代において、新しい観光産業を発掘することは重要な課題といえます。創意工夫により新たな観光産業を振興し、地域独自のまちおこしにつながる運動を行います。



### 《教育》

～子供たちが夢みるまち～

子供たちの取り巻く教育環境が日々大きく変化し、思考力・判断力・表現力を重視した教育が行われているなかで、地域としてもっと子供たちが夢や希望を持てるような教育づくりを行う必要があります。夢や希望を持ち続けることより溌剌(はつらつ)な子供たちを増やし、夢が叶う幸せなまちになる運動を行います。



### 《国際》

～地域に根差したグローバルなまち～

グローバル化の進展に伴い、国の枠を超えた様々な生活や文化を理解し、多文化共生をしていかなければならないと考えます。のために多文化を知る環境づくりや交流をし、より広い価値観や考え方を多角的に捉えられる、国際感覚の豊かな市民を育成するまちとなるような運動を行います。



青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を目指し、  
ひとづくり(次世代を担う子供のため)、まちづくり(愛する地域のため)、  
自分づくり(自己成長)を通して、より良い社会をつくります。

**あきる野JCでは  
新会員を募集しています**

ホームページは  
こちらより▼

